

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-2 公正で効率的な行政運営を行う

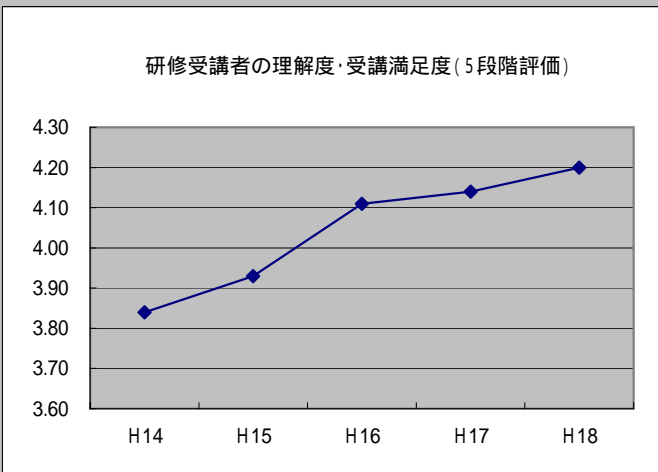
(所管課名 総務部職員研修所)

任務	市民の視点に立ち、自主・自立の精神で積極果敢に行動する職員を育成する
----	------------------------------------

任務の成果・活動指標の推移

研修受講者の理解度・受講満足度(5段階評価)

H14実績	3.84
H15実績	3.93
H16実績	4.11
H17実績	4.14
H18目標	4.20



指標の説明

各研修ごとに研修参加者から提出された受講報告書の理解度・満足度(最高5～最低1の5段階評価)を合計し、その平均値を掲げた。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

平成16年2月に四日市市人材育成基本方針を改訂し、任務目的"市民の視点に立ち、自主・自立の精神で積極果敢に行動する職員を育成する"を実現するために、階層別研修、特別研修、派遣研修などの研修体系を整備し、着実に研修を実施してきた。

平成16年度からは階層別研修としてステージ研修を導入し、「地方分権時代の地方自治のありかた」を取り入れた。その他、特別研修において企業経営感覚養成研修、アカウンタビリティ能力養成研修等の時代の流れに対応した研修を実施している。

指標である研修受講者の理解度・受講満足度は着実に改善し、平成16年度において、政策プランの目標値である4.00以上を達成し、平成17年度も16年度の数値を維持している。

平成18年度

平成18年度から新たに係長級候補者研修を実施し、職場の中堅職員の養成を図る。

平成18年度の指標は過去の実績を上回る4.20とする。

これからの課題、施策等展開の方向性

市民協働、説明責任能力、接遇、人権意識、公務員倫理等についてより実効性のある研修を実施し、職員の資質向上、協働意識の醸成を図る。

職員の意欲、能力、実績を重視した人事管理を推進するため、研修による効果測定と人事考課との連携を強化する。